
年明けに・・・・・

貂寡

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

年明けに・・・・・

【NZコード】

N3439D

【作者名】

貂寧

【あらすじ】

年明けの番組を見てカウントダウンをして・・・そりやつてふつうの年明けを望んでいたのに・・・年が明けた瞬間に電話がかかってきた・・・非通知の男の人との関係が今日始まる・・・

(前書き)

今日、年末なので……思いついた話です……

年末・・・弟がトイレの掃除を頑張つてしている中・・・
私は、今こうしてパソコンで遊んでいます・・・
外では、カラスが年末の寒い風の中寒がりもせずに・・・
大いに騒がしく鳴いています・・・
冬休みが始まりもう1週間たちましたが・・・
いまだに受験勉強は、せず・・・
高校受験は、良いのか大丈夫なのかと親に忙しく言われる毎日です。
あと、6時間で年が明けて・・・新しい年が来ます・・・
・・・
携帯を握りしめる・・・
俺は、今年の瀬が迫るこの日に彼女に振られた・・・
彼女と俺は気が合わなかつたらしい・・・
俺的には、良い感じと思ったのにな・・・
こんな年の瀬に振られるなんて・・・
なんてついていない男なんだろう・・・

隠し味にオイスター ソースをちょっと入れて完成です・・・・・
年越しそばは、おいしい方が大好きです・・・・・
だけど私は、あまりおいしくありません・・・・・
何がいけないのでしょうか・・・・・

俺は、年越しそばを食つてゐる・・・・・
母さんが作るそばは、のびていて・・・・・ まざい・・・・・
だけど食べないと文句を言われる・・・・・
今、夜9時年明けまであと3時間・・・・・
そうだ良いこと考えた・・・・・
勝手に考えた携帯番号で電話をかけてみよう・・・・・
もしかしたらいい人にかかるかも・・・・・
まあ、運に賭けるのだが・・・・・

私は、携帯電話で遊んでいます・・・・・
けつこうメールとかするとお金がかかりますが・・・・・
メールは、みんなとのコミュニケーションできるツールだと思いま
す・・・・・
今では、携帯電話で小説を読めるまでになりました・・・・・

けつじゅの小説にはまっています・・・

女の子と、男の子のはかないラブストーリーかと思つて
実は、B系だつたり・・・

はまりにはまつてちょっとその作者に詳しく述べたり・・・
好きになつたり・・・

読書は前から好きでしたが、この小説にあつてもつと樂しく有意義
な時間が増えていくのです・・・

今は、11時・・・あと1時間もすれば・・・年明けで・・・

俺は、電話番号を考えていた・・・

何番にしようつか・・・押して見るがかけたりはしない・・・
ただ押すだけ・・・そして12:00になつたらその番号を押す・・・
・
そして賭けてみる・・・

12時まであと10分眠気に襲われながらも私は、こたつで紅茶を
すすつてあります・・・
甘くておいしい、ミルクティーです・・・
あと5分になります・・・
もうテレビでは、カウントダウンとか言って炎が燃やされていきま

す・・・・

3・2・1

テレビで12時の時報が鳴る・・・
考えていた電話をかけてみる・・・
ここでかかれば、今年の運は、最高・・・

3・2・1・・・・

「あけましておめでとうございます・・・

ここでテレビの中の女人が明るく言つ・・・

ケータイ電話は、友達にメールを送るためにフル活用する・・・
『あけましておめでとう・・・今年もよろしくね・・・』

そう書いて送ろうと送信を押そうとすると電話がかかってきた・・・

呼び出し音が二回鳴る・・・
俺の今年の運は、最高になつそつだった・・・

「非通知だけじ出てみる・・・

「もしもし・・・」

「女の人の声だつた・・・最高だ・・・

「もしもし・・・すみませんあけましておめでと「ひげやこ」ます・・・

・

「男の人の声が聞こえた・・・

「あけましておめでと「ひげやこ」ます・・・といひであなたは、誰ですか・・?・?・?」

「おれは、貝^{かい}釜^{がま}有^{ゆう}と申します・・・突然かけてすみません・・・

「はあ・・・わたしは、策と名乗つておきます・・・まあ本名じやありませんから・・・」

「あの・・・俺自分で作った電話番号で書いてみたんです・・・びっくりしました・・・かかるなんて・・・」

「はあ・・・そうですか・・・ところであなたは何歳ですか?・?・?

「おれは、14で、中3です・・・あなたは」

「いちよひー5にしておきます・・・」

「私は、怪しいなと思いました・・・

自分で作った電話番号で私にかかるはずがないと・・・

「あの・・・またかけていいですか？？」

「彼が聞いてくる・・・1回会つてみるのも良いかもと思つ・・・」

「あの・・・何所の人ですか・・・」

「俺は、札川です・・・」

「私もですよ・・・もし良かつたら明日札川神社で会いませんか・

・・・」

私が誘い出してみる・・・

化けの皮をはがそうと・・・

「いいですよ・・・初詣ついでに・・・」

「では、私は白いロングマフラーをしていきますので・・・あなた

は、右手に赤いリストバンドをしてきて下さい・・・」

「はい・・・では、また明日・・・つて今日ですよね」

「はい今日です・・・午後3時には、行きますので・・・」

そいつって電話を切る・・・

今日の午後3時・・・電話の彼女と会えるのだろうか・・・

私は、無茶な約束をしてしまったと思った・・・

私は、ロングマフラー彼は、リストバンド・・・どう考へても彼の
方が
不利益なのに・・・

午後三時まであと10分

あの電話をかけてから、興奮して寝られなかつた・・・・
右手に赤いリストバンドをつけて神社に行く
神社までは徒歩5分だ・・・
電話の彼女に会つてみたい・・・

私は、マフラーを巻いて神社に行く・・・・
予想以上に人が少なくてやばいと思う・・・・
だけど、電話の彼を見つけることができた・・・・

人混みは、それほど無い・・・・

彼女は、マフラーを巻いているはずだが・・
マフラーを巻いている人が多すぎて切なくなる・・・・
彼女から声をかけてくるのを待つしか手が無くなつた・・・・

私は、リストバンドの彼を見つけて観察をする・・・

けつこうう良い格好をしている・・・・・
そしてなかなかかつこよい・・・・・・
私は、声をかけてみるとこにした・・・・・

「あのひ・・・・・四、釜、有、さんですか・・・・・あの・・・・・
「は、じ、わ、い、で、す、け、ど・・・・・策、さん、で、す、ね・・・・・」

そうして私たちは、親しくなり・・・・・
高校受験も無事に終わり
二人で同じ高校に行くことになった・・・・・
これも運命という物なのだろうか・・・・・

俺は、彼女と今日今年が終わるといつていいる中・・・・・
12時になつたら電話をしようといつて出番を待つていいる・・・・・

私は、彼からの電話を待っていた・・・・・

(後書き)

今年も良い年になりますように・・・
ちなみにこの話の彼女は、いい年になったようです・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3439d/>

年明けに・・・・・・

2010年11月29日10時52分発行